

ビジョンに掲げた5年間の取組		令和3年度の取組	構成員	連携団体	取組実績等 【○は新規取組】	進捗状況	今後の取組方針
水辺整備と湖辺面の利活用	砂浜の整備	・沿岸域の一部(諏訪市(遠浅砂浜))において覆砂の試行(再掲)	諏訪建設事務所		・砂浜整備1箇所	B	沿岸域の一部において覆砂の試行
	治水・利水浚渫	・流入河川や河口部等を中心とした治水・利水浚渫	諏訪建設事務所		・上川や砥川など流入河川にて土砂の堆積状況に応じて実施	B	引き続き状況を見ながら浚渫を実施する
	水面の利活用	・下諏訪ローイングパークの活用	下諏訪町 長野県ボート協会	下諏訪町漕艇協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4/11 諏訪湖ロングレース(約121名参加)</li> <li>・5/8~9 信毎諏訪湖レガッタ(約350名参加)</li> <li>・9~10月 漕艇場周辺の水草除去及び漂流物除去(ボート部高校生、ボート関係者含め約100名で手狩り実施)</li> <li>・親と子のボート教室(下諏訪町漕艇協会主催事業への協力)(新型コロナウイルスの影響により中止)</li> <li>・下諏訪レガッタ(新型コロナウイルスの影響により中止)</li> </ul> ○11/20~21 小学生中学生レガッタ・ボート体験会(計30名参加)	C	・今後も新型コロナウイルスの感染状況に配慮しながら下諏訪ローイングパークを活用したスポーツイベント等の開催を行い、諏訪湖やボート等に親しんでいただける機会を作る。
		・「河川空間のオープン化」に向けた取組支援	諏訪建設事務所 諏訪地域振興局		・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い会議等への参加はできなかった	C	協議会等への参加、湖周市町村の連絡会議開催、今後の取組における事務手続き等の整理と関係機関と連携して体制の枠組みづくりを進める。
	水辺空間を活かした賑わいの創出や魅力あるまちづくり	・河川空間のオープン化、水辺カフェの調査、研究	あってもいいな夢工場 湖の驛プロジェクト		<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気づくり支援金事業(諏訪湖ストーリー作成)</li> <li>・一般市民対象のワークショップ開催(6/22(火)から毎月1回開催) ※新型コロナ対策優先にて実施</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・諏訪湖ミズベリング開発に関連する研究会・講演会・先進地事例等の紹介</li> <li>○延期になっているミズベリング会議の開催</li> <li>○元気づくり支援金を使わせて頂く事業への取り組み</li> <li>・全国一斉の水辺で乾杯(2021)を実施</li> <li>○水辺の社会実験</li> <li>○水辺での新しいアクティビティを考える</li> </ul>	一般社団法人諏訪湖ミズベリング振興協会		<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川敷地占用許可準則に基づく都市・地域再生等利用区域の指定の許可取得を目標に、賑わいのあるまちづくりのためのミズベリング会議の開催</li> <li>○水辺イベント Go on the SUWAKO を開催し、川まち事業を行う。</li> <li>・民間活力の積極的な参画で、水辺とまちを考える。</li> <li>・地域経済活性化のための観光振興として水辺の新しい活用の可能性を考える。</li> <li>・水辺で楽しむ人、水辺でまちを変えたい人、水辺でビジネスを作る人、やりたい人を増やす。</li> <li>・全国のミズベリングネットワークとの情報交換。</li> </ul>		
		・「健康スポーツゾーン」の活用による健康増進事業(諏訪湖活用推進事業)の開催	下諏訪町		・H30~R3 にかけて、湖畔に設置した健康器具などを使った運動講座および、ジョギングロードでのウォーキング教室を継続的に開催し、多数の方にご参加いただいた。	B	・町では諏訪湖畔を「健康スポーツゾーン」と位置付けており、湖畔の環境・施設を活かした健康運動教室等を継続的に開催し、地域住民の健康増進に繋げていく。
		・湖岸周辺設備等の管理、整備	下諏訪町		<ul style="list-style-type: none"> <li>・諏訪湖岸の街路灯更新及びジョギングロードのゴムチップ舗装の改修、足下灯設置、芝等の管理</li> <li>・赤砂崎公園において季節に合わせたイベントを開催</li> </ul>	B	・諏訪湖岸の芝刈りは協定回数以上実施しており、良好な環境を維持しているため、今後も適切な維持管理に努めたい。
		・人工渚の活用	あってもいいな夢工場 湖の驛プロジェクト		人工渚水辺づくり作業 毎週日曜日午前10:30から1時間30分 魚つかみイベント(本年コロナ対策にて中止)		

ビジョンに掲げた5年間の取組		令和3年度の取組	構成員	連携団体	取組実績等【○は新規取組】	進捗状況	今後の取組方針
「諏訪湖周サイクリングロード」整備推進           観光活性化のための整備	サイクリングロードの整備	・諏訪湖周サイクリングロードの整備	諏訪建設事務所		・A 区間(岡谷市)における工事の推進 ・B 区間(諏訪市)における工事の推進	B	目標である R5 全線供用に向けて整備促進する
			岡谷市		・諏訪湖周自転車活用推進計画に基づき、あいとびあ・諏訪湖ハイツ前、マレットゴルフ場付近のサイクリングロードを整備した。	C	横河川～塚間川先の工事を行う予定です。
			諏訪市		・諏訪湖周自転車活用推進計画に基づき、ヨットハーバーから日赤の間・湖畔公園事務所から間欠泉方面へ整備工事を実施する。	順調	引き続き計画に沿って整備工事の推進。
			下諏訪町		・サイクリングロード一部区間の供用開始 岡谷市境から砥川橋	C	
		○諏訪湖周自転車活用推進協議会の定期開催	諏訪湖周自転車活用推進協議会		・5/24 に第1回検討会議を開催(その後も随時開催) ・サイクリングロード等の利用ルールを協議し、決定する。	B	引き続きサイクリングロード等の利用ルール策定を進める
	サイクリングロードの整備	・サイクルスタンドの設置	諏訪湖八ヶ岳自転車活用推進協議会		・自転車利用促進のための環境づくりとしてサイクルスタンドを設置 ※新型コロナウイルスの状況を踏まえながら実施	C	諏訪市(かりんの館)に新規2台設置。他6台済み ・諏訪湖周オリジナルロゴ入りのサイクルスタンドを製作中。作成でき次第、順次設置予定。
		・サイクリングガイドの養成			・5月、10月予定(一般社団法人○と編集社 grav bicycle)	B	2022年6/18-19開催予定 オンライン(3回)+実地1回
	ガイドサイクリング民間団体等との連携	・サイクルツーリズムの推進 ・サイクリングガイドの養成(再掲)	諏訪地域振興局		コロナ禍を受け次年度に延期→サイクリングマップを活用した自転車旅の記事及び動画を専門 WEB メディアに掲載 コロナ禍を受け中止→将来のインバウンド需要回復に備え多言語版サイクリングマップ作成		次年度に先送りとなったサイクリングラリーイベントを実施するなどして、構築したサイクリングルートのPR事業を重点的に実施していく。
			諏訪湖八ヶ岳自転車活用推進協議会		・5月、10月予定(一般社団法人○と編集社 grav bicycle)	B	2022年6/18-19開催予定 オンライン(3回)+実地1回
	カヌー等民間団体との連携	・他の団体等とも連携して、諏訪湖及び湖周小河川でのカヤック・カヌー体験講習の実施(5月、7月9日、10月) ・諏訪市内を流れる河川を水辺から見直し、【水郷の街】として、その復活の可能性を探る。	諏訪湖周水路復活漕ぎあるきプロジェクト		湖周小河川の清掃活動などを行いながら、街中河川の持つ自然環境・カヤック航行の維持を管理者と共に、かつての水路としての機能をカヤック・カヌーを利用して【水郷の街、学びのフィールドワーク】として復活させ、中門川・衣の渡川などをカヤックの周遊コースとして新たなアクティビティの創出を探る。 ※カヤック・カヌーで利用しやすく、漕ぎやすいフィールドの創生を具体的に河川管理者と話し合いをお願いしたい。		河川～湖岸にカヌー及びカヤックの発着場の設置を要望したい。
	諏訪湖に関する情報発信	・長野県ホームページ、長野県魅力発信ブログなどによる情報発信 ・公式Instagram及び公式Facebookにより、諏訪湖の“インスタ映え”する美しい風景や情報を国内外に発信	諏訪地域振興局		諏訪湖の日フォーラムの情報等を、ブログやSNSを利用して発信した。	C	様々な情報を積極的に発信していく
	インフラツーリズム	・舟通しの活用の調査・研究	あってもいいな夢工場 湖の驛プロジェクト		・歴史ある天竜川と諏訪湖の要所を学習、観光資源として役立てるための調査研究に着手。非日常の体験(9月～) ・夏休みを利用し小学生対象とした体験乗船会を行う。		
芸術・文化施設と	・「諏訪湖まちじゅう芸術祭」等イベントの支援、協力	諏訪商工会議所					

ビジョンに掲げた5年間の取組		令和3年度の取組	構成員	連携団体	取組実績等 【○は新規取組】	進捗状況	今後の取組方針
	の連携	(1)「諏訪地域日本遺産活用促進ウォーキングガイド第2集」作成  (2)「すわ大昔フォーラム」諏訪の歴史・考古学講座 (諏訪市博物館・すわっチャオ・諏訪神仏プロジェクトと共催) オンライン講座「御柱と諏訪信仰」開催(年10回)	(一社)大昔調査会 曾根遺跡研究会	諏訪市博物館  すわっチャオ  諏訪神仏プロジェクト	(1)「諏訪地域日本遺産活用促進ウォーキングガイド第2集」作成・完成→6市町村などに配布(2月末) ⇒市民の学習や観光客の見学等に活用 (市町村各1000部+その他=8000部配布) →考古・歴史ファンや、一般観光客にも活用されている。  (2)諏訪市博物館・すわっチャオ・諏訪神仏プロジェクトと共催する「すわ大昔フォーラム」 →○オンライン講座「御柱と諏訪信仰」として10回配信。 平均視聴者は現状で、各700回を超えており、諏訪地域及び全国の方々の学習教材として活用されている。 御柱祭を控えた諏訪湖周辺地域の全国への情報発信に大きく寄与することができた。		(1)「諏訪地域日本遺産活用促進ウォーキングガイド第3集」を令和4年度に作成予定。  (2)「すわ大昔フォーラム」 今後も、様々な地域のテーマを取り上げ、オンライン講座と対面講座を実施予定

新たな取組には ○マークを付してあります。

進捗状況：現在までの進捗率に応じて、A：完了(100%)・B：順調(80%～)・C：概ね順調(60%～)・D：要改善(40%以下)・E：未実施(0%)を記載